

『肺病変を伴う von Recklinghausen 病症例に関する 後方視的研究』 に関係する患者様、御家族の皆様へ

当院では、『肺病変を伴う von Recklinghausen 病症例に関する後方視的研究』という研究を行っています。肺病変を伴う von Recklinghausen 病の特徴を明らかにすることが研究の目的です。

<研究の対象となる患者さん>

2005年1月から2025年12月末までに近畿中央呼吸器センターに受診された、肺病変を伴う von Recklinghausen 病と診断された患者さんが対象です。

<研究方法>

患者さんのカルテ等をもとに調査を行います。本調査では患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。

<個人情報の取り扱い>

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さんを特定できる情報が外に出ることはありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究事務局までお問い合わせ下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

TEL: 072-252-3021、FAX: 072-251-1372

呼吸器内科医長 竹内 奈緒子 (研究事務局)

臨床研究センター長 新井 徹 (研究代表者)

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会 (IRB) における厳重な審査・承認をうけ、ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則である「ヘルシンキ宣言2013年度版」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (令和4年3月10日一部改正、文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示)」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」 (令和4年6月6日一部改定) を遵守して実施されます。

(当院ホームページに掲載)